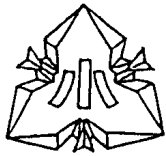


横浜市立鶴見小学校

「個性、心と体・自立、学び合い」



学校だより

6月号

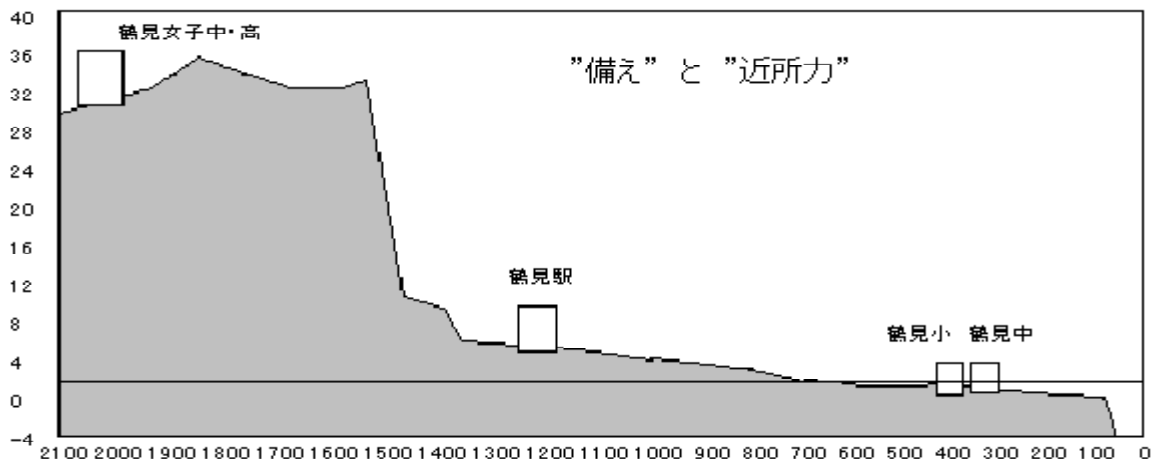
つるみしょう みず なか

「え？鶴見小は、水の中？！」

5月19日の朝会で、鶴見中央地区連合町内会長の熊澤一雄さんが、子どもたちにお話をしてくださったときの“一コマ”です。

「皆さん、次のグラフを見てください。皆さんが今立っている鶴見小の校庭は、鶴見川の高さよりも低いのです。ですから、もし、鶴見川が氾濫したらどうなるでしょう。」

「え～？え～～？鶴見小の校庭は、水の中に沈んでしまう。たいへんだ～！」・・・



鶴見中央地区では、区役所と共に「助け合おう鶴見の中央で!～それは、“備え”と“近所力”から～」と題した「鶴見中央地区地域防災マップ」を作成しました。

今、世界では、ミャンマーのサイクロンや中国四川省の大地震などで、たくさんの人々が亡くなったり、行方不明になったりしています。・・・恐ろしいことです。

私たちが住んでいる鶴見にも、同じような台風や大地震がやってくるかも知れません。学校としても、日頃より、各町内会と連携を取り、「助け合い」の精神や“備え”と“近所力”を大切にしていかなければいけないと痛感しました。

ところで、鶴見小は、今年度の研究として、鶴見中、豊岡小と共に横浜市の小中一貫教育実践推進校に、また、文部科学省の学校評価実践研究校に手を挙げました。

この研究を通して、「地域に根ざした信頼される学校づくり」を推進していきます。

そこで、各町内会の会長をお招きして、朝会で子どもたちにお話をする機会を設けてみました。私たちの宝である“鶴見っ子”を地域全体で育てていきたいと考えます。

(校長 土屋尊生)